

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月30日(水) 二回戦

Cコート 第2試合 深谷市民体育館

チームA				チームB
明德義塾	92	{ 26 - 19 20 - 27 17 - 13 }	91	県立北中城
高知				沖縄

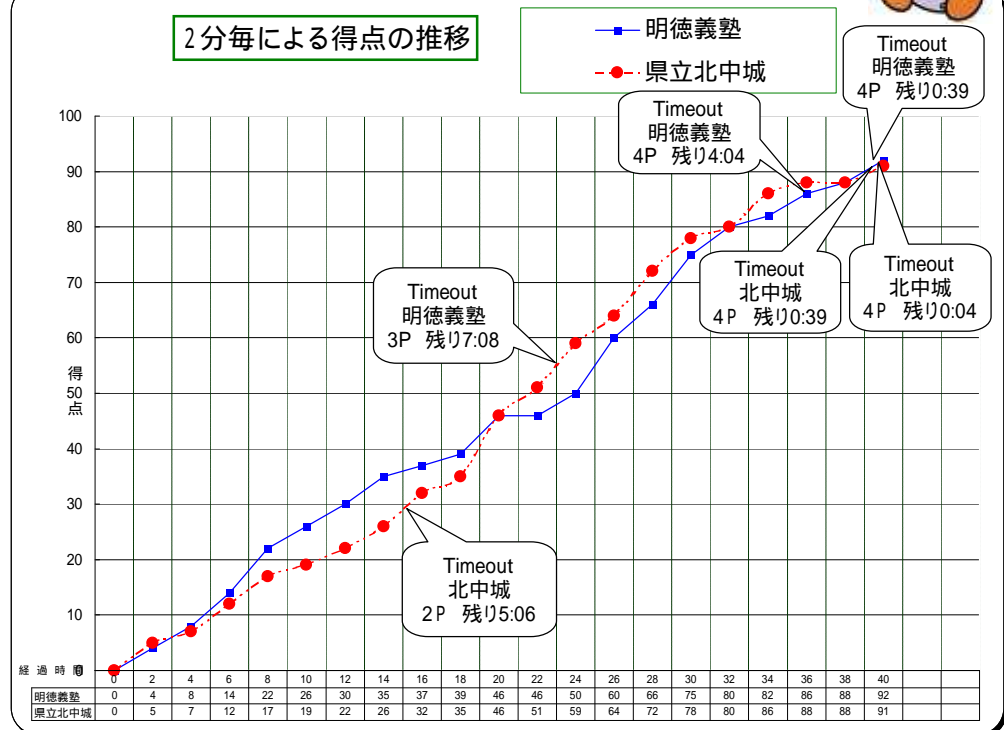
明德義塾

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	金崎 優人	X	5	0	0	2	4	1	4	4	0	2	2	0	2	0	39
5	中島 良史	X	17	1	1	7	14	0	0	1	3	3	6	2	3	0	40
6	小松 史明	/	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	8
7	山添 涼太	X	14	1	1	4	7	3	4	2	1	8	2	0	4	0	40
8	松岡 治宏	X	2	0	1	1	7	0	0	1	0	4	4	1	2	1	32
9	丸川 新	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	吉福 真利	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	稲山 欽也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	藤谷 善彰	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	宮本 晃成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	Fall Cheikh Alioune	X	54	0	2	26	36	2	5	1	14	15	6	2	2	2	40
15	Joao Elisa Simba Filho	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	金崎 優生									0	3	3					
出場: ×は先発、/は出場	92	2	6	40	68	6	13	11	21	35	21	5	13	3			200
確率				33.3%	58.8%	46.2%			計	56							

県立北中城

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	砂川 貴哉	X	25	7	15	2	2	0	0	5	1	6	0	2	1	2	33
5	大嶺 心	X	2	0	0	1	1	0	0	1	1	3	0	6	2	0	27
6	横田 健太郎	/	2	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
7	岸本 隆一	X	40	8	22	6	10	4	5	3	0	1	0	0	5	0	40
8	屋宜 昂希	X	0	0	7	0	2	0	0	3	1	0	4	1	3	1	35
9	近藤 成一	X	11	1	4	4	5	0	0	5	0	0	1	6	2	0	24
10	新里 航平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	伊差 竜真	/	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	3	0	9
12	宮里 徹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	下地 恵吾	/	11	3	4	1	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	25
14	仲里 翼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	福山 竜朗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	金城 パーニー									0	1	1					
出場: ×は先発、/は出場	91	19	55	15	23	4	5	19	8	13	5	16	17	3			200
確率				34.5%	65.2%	80.0%			計	21							

2分毎による得点の推移



戦評

四国大会を制し、高さを武器とする明德義塾に、前日、市立船橋をトリプルオーバータイムの末にくだし勢いに乗る北中城がどう挑むかが楽しみな戦。第1P 明德義塾はハーフコートマンツーマン。北中城はフルコートマンツーマンのディフェンス。北中城は#7岸本のアウトサイドからの1対1を中心に、対する明德義塾は#14アリウンのゴール下を中心とし、点をとり合う展開。#14アリウンに安定感があり26対19と明德義塾リード。

第2P 立ち上がり、北中城の攻めがやや単調になり5分経過で11点差となったところで北中城タイムアウト。その後北中城はディフェンスのプレッシャーをやや強めると同時に#7岸本、#4砂川の3Pで完全に息を吹き返し46対46の同点で終了。

第3P 明德義塾は北中城#7岸本をフェイスガード。対する北中城はフルコートでボール運びに対するプレッシャーを強めるも、お互いそれをオフェンス力がうまわり、一進一退の展開が続き78対75北中城リードで終了。

第4P 開始3分、ここまで大活躍の北中城#4砂川がファウルアウト。一気に流れが変わるかと思われたが北中城の集中が途切れず、最後まで互いの長所を活かしもつれる展開に。結局、残り4秒、マイボールのスローインから明德義塾#7山添がドライブインからの逆転シュートを決め、1点差で粘る北中城を辛くも振り切った。

主審	久保 裕紀	副審	飯塚 勝	戦評	長原 康 (埼玉県高体連)
----	-------	----	------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット